…シ若シ右諸項中疑義ア
ル條項ト同心得此旨相達候
ハ本文ニ準シ處理スヘキ儀
院ノ種別（附屬、單立、幷ニ府
院ノ位置及醫學校迄ノ距離
者ノ定員○同等常患者ノ概

文部卿福岡孝悌

陸軍一般

取調中ニ候處主務官等之
相心得此旨相達候事
及各官廳ヨリ計官ハ主務官
告書ハ主務官ノ名ヲ以テ
計算課長ニ宛テ調製スヘ
ハ近來各鎮臺各官廳ニ於
局ヘ對スル証書類ハ主務

陸軍卿大山巖

陸軍一般

達第四條別紙ノ通改正候
校以下幷東京憲兵隊軍甲
ハ會葬式第十條ヨリ第十
於テ之レヲ行フ可シ

陸軍卿大山巖

時開議　日本坑法第三章
案第一讀會

ヲ製シ公衆ノ參觀ニ供セ

內務省衛生局

表自明治十五年五月卅日
初起至仝七月十三日

患者	死亡
三四	一六
七九	四三
一三三	六七
一一七	八三
一八二	一一九
一五	一一
四	三
一一	七
一二	八
一五	一三
一二六	一六
六三	四四
六七	四二
五八	三四
六五	三八
三九	二三
一	一
一四	九
一七	一四
二〇	九
二五	一七
一二三	四八
一〇九八	六六四

四位勲七等　鍋島[illegible]

○同五日分

任大藏四等技師　大藏一等技手從七位　加藤延治
同　同　同　矢島唐保
同　同　杉谷孝儀

時事新報

運輸交通論（百十一号ノ續）

運輸交通ノ業ニ就テ政府ノ保護ハ我黨ノ飽クマデモ賛成スル所ナリ即チ日本國庫ノ金ヲ以テ日本國ノ文明開化ヲ助ケテ國力ノ基本ヲ立ルモノナレハ保護ノ金圓愛シムニ足ラズト雖ドモ其保護ノ法ヲ施行スルニ當テ眞實ニ無偏無黨ノ旨ヲ誤ラズシテ政府タルモノ、性質ニ於テ其法律上ニモ又德義上ニモ一點ノ瑕瑾ナカランコト我黨ノ企望スル所ナリ或ハ海運振張ノ爲ニトテ政府ヨリ民間ノ結社ヲ助ルコモアラン其コレヲ助ルハ甚タ宜シ唯其結社スル人物ノ誰レ彼レヲ問ハズシテ苟モ日本國中ノ造船者又航海者ニテ結社スルモノアレハ其社ノ事業ニ就キ一般ノ成規ニ從テ之ヲ保護センノミ、人ヲ問ハズシテ業ヲ見ル可キナリ此點ニ就テ見レハ政府ト人民トノ間ニハ唯成規ト事業トノ關係アルノミニシテ人ト人トノ交際ハナキモノト斷定セサルヲ得ズ既ニ人ノ間ニ關係ナシ、況ヤ其親疎愛憎ニ於テヲヤ決シテアル可ラザルナリ、若シモ然ラズシテ其關係交際ニ一毫ニテモ親愛ノ情況アル片ハ其親愛ハ假令ヒ私ニ非ザルモ世間ノ眼ヲ以テ之ヲ見レハ私親私愛トシテ苦情ナキヲ得ズ政府ハ之ガ爲ニ怨ノ府ト爲リ却テ保護ノ目的ヲバ達スルコ能ハズシテ物論ノ媒介ヲ爲シ自カラ政府タルモノ、性質ヲ損シテ自家ノ弱點ヲ示スニ足ル可キノミ事柄ハ異ナレドモ一例ヲ擧レハ去ル明治十二年二月十三日太政官ヨリ第八号ヲ以テ布告シテ曰ク

從來神奈川縣下横濱港ニ於テ洋銀相場取引致シ候者有之候處右ハ一切禁止候條自今洋銀取引所設立營業致シ度者ハ昨十一年第八号布告株式取引所條例ニ照準シ大藏卿ヘ可願出此旨布告候事

五日ヲ經テ二月十八日大藏省ヨリ甲第二十二号ヲ以テ布達シテ曰ク

今般第八号ヲ以テ公布相成候洋銀取引所設立ノ儀ハ當分横濱港ニ於テ一ケ所ニ相限リ候條此旨布達候事

舊來ノ洋銀取引ヲ禁止シテ日本國中唯横濱ノ一ケ所ニ公然タル取引ノ營業ヲ許シタルコナレバ投機商ノ此ニ蝟集シテ營業ノ繁昌ス可キ固ヨリ論ヲ俟タズ少シク商賈上ノ考アラン者ハ此營業ノ株主ト爲リテ非常ノ利益タル可キヲ知ラサルモノナシ若シモ日本全國ノ商人ニシテ此布告布達ノ意味ヲ解シ又洋銀取引所ナルモノハ性質ヲ熟知シタラバ西ヨリ東ヨリ爭フテ出願スル者[illegible]可キ筈ナルヲ東京横濱ノ商人等ニ[illegible]ナレ決シテ他人ヲシテ權ヲ着ケシメズ原[illegible]ノ輩ハ[illegible]結社シテ二十万圓ノ資本金ヲ集メ早クモ同年三月ノ初ニ出願シテ神奈川縣令ガ其願書ニ奥書調印シタルハ三月五日、大藏卿ヨリ許可シタルハ三月七日ニシテ同月十日ニハ洋銀取引所ノ開業式ヲ執行シタリ我輩ハ此事業ノ迅速ナルヲ見テ驚カザルヲ得ズ東京横濱ノ商人ハ二月十三日初テ太政官ノ公布ヲ拜見シテ横濱ノ洋銀相場ヲ禁止セラレテ更ニ洋銀取引所ノ設立ヲ許可セラル可キヲ知リ、次テ同月十八日大藏省ノ布達ヲ拜見シテ取引所ハ當分横濱港ノ一ケ所ニ限ル可キ旨ヲ知リ、此營業ニ從事スルノ利害得失ヲ熟慮シテ果シテ其利得ナルコヲ發明シタル者ガ發起人ニシテ此發起人ガ先ツ知巳ノ人ニ語リ其人モ亦續々ニ思考ノ末了解シ夫レヨリ傳ヘ又傳ヘテ遂ニ株主百五十四名株數二千株ヲ募集シ創立証書ヲ作リ株主姓名簿ヲ作リ定款ヲ作リ申合規則ヲ作ル等一切ノ手數ヲ終リテ大成ノ開業式ニ至ル迄其日數誠ニ僅々ニシテ大藏省發令ノ日ト營業出願ノ日ト相距ルコ正ニ十六日ナリ實ニ非常ナル手廻ハシト云フ可シ都テ政府ノ筋ヘ出願ノ事ハ瑣小ノ箇條ニテモ樣々ノ手數ヲ煩ハシテ容易ニ許可ヲ得難キモノナルニ此取引所ノ一事ニ限リテ斯クモ速ナリシハ不思議ナリトテ其時ニモ世間ニテ怪シミタルコナリキ加之當時聞ク所ニ據レハ該營業出願ノ事ハ疾クヨリ東京ニテ其人モ定マリ殆ト東京商人ノ專有ニモ爲ル可キ事情ヲ横濱ノ商人等ガ密ニ聞付ケ去迹ハ東京人ニ利ヲ占メラル、ノミニシテ自分等ハ其利潤ノ餘瀝ニ浴スルヲ得ス此洋銀取引所ガ出來ノ上ハ其株券ハ元ト出金高ノ二倍ニモ三倍ニモ騰貴ス可キヤ必定、濡手ニ粟ノ大利益ナリ之ヲ見遁ス可ラストテ出願ノ手續最中ニ商人等ノ仲間ニ紛議ヲ生シ、株數ノ多寡ヲ爭フタリト云フ利分等ノコハ商人ノ常ニシテ深ク咎ルニ足ラズ況ヤ此株券ヲ握ルヲ得レハ勞セズシテ立ドコロニ二三倍ノ大利ヲ見ルコナレハ其紛議モ尤ナル譯ケナレドモ政府ノ一方ニ就テ論スレハ前記ノ事情ニテ洋銀取引所ノ設立ヲ許可シタルガ爲ニ政府ニ損スル所アルモ益スル所ヲ見ズ當時政府ノ人ハ前以テ此發起人等ト内話シテ近日云々ノ布告布達アルハ云々ノ手續ヲ以テ出願シ云々ノ許可ヲ得ベシ云々、ノ營業ス可シト人ト人トノ間ニ打合セタルコナレハ固ヨリ政府タルモノ、德義上ノ瑕瑾ニシテ冥々ノ際ニ天下公衆ノ信ヲ失フ可キコナレドモ或ハ然ラズシテ全ク偶然ニ出テ太政官ガ明治十二年二月十三日[illegible]布告シ大藏省ガ同月十八日其細目ヲ布達シ[illegible]商人等ガ此布告布達ヲ拜見シテ一旦ノ偶然ニ發意シ偶然ニ出願シテ偶然ニ許可ヲ取リ偶然ニ大利益ヲ得タルモノニテモ天下公衆ヨリ見レハ[illegible]シテ毫モ利スル所ナキ[illegible]（未完）